

連載

もつと



知りたい

地域医療

皆さんこんにちは。今年の夏は例年になく暑かったですね。今原稿を書いている9月になってもまだ25度を超える日々が続いています。この広報が届く10月には涼しくなってきたでしょうか。

さて秋になり、インフルエンザの予防接種が始まります。でも今年はいつもと違う事があります。それは、新型コロナウイルス感染症が今年の2月から流行していることです。そのため前回の冬はインフルエンザの流行が早く終わってしまいました。

第四十回 インフルエンザワクチンを受けましょう  
町立下川病院 院長 片野俊英



お問い合わせ  
町立下川病院  
☎・☆4-2039

つきません。しかし問題なのは、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は、症状だけでは診断ができません。インフルエンザであれば当院でも検査にて診断がつきますが、発熱直後では検査でもわからないことがあるので、夜に38度以上の発熱があってもほかの症状がなければ、慌てずに翌日にゆっくり受診して検査を受けてくださいね。

それよりも、まずはインフルエンザに罹らないように予防接種を必ず受けるようにしましょう。今年は例年より早く10月はじめから予防接種を始めます。10月

はまずお年寄りや病気ををお持ちの方・小さいお子様などへ優先的に接種をしますので、ハピネスにお申し込みください。当院にかかりつけの方は、例年通り外来診察時に接種できますので、10月になったらハピネスに申し込んでおいてください。それ以外の健康な成人の方は11月以降になりますので、もうしばらくお待ちくださいね。

新型コロナウイルスの8月以降の第二波の様子を見ますと、今のところ若い方の感染が中心で第一波の時ほど重症化している方は少ないようです。しかし、病院には免疫力の下がったご

高齢の方が入院しておりまので、発熱や風邪症状で受診される方は、まず病院前の臨時の発熱外来で診察をいたします。町民のみなさま方にはご不便をおかけしますが、どうぞご了承ください。

インフルエンザも新型コロナウイルスも、みなさんの予防のしかたに特別な事はありません。「うがい」「手洗い」これが一番大切ですが、いわゆる「三密」を避け、十分な栄養・睡眠をとり、体の免疫力を下げないようにして、元気にこの冬を乗り切ってくださいね。

